

令和6年度事業計画書

【概要】

令和6年度は、すべての島民の創意と行動力を結集して「人と自然の豊かな関係をきずく“公園島”」を目指して、さらなる淡路地域の発展に向けて、「淡路を担う人づくり」「花と緑豊かな環境づくり」「活気あふれる地域づくり」「あわじ環境未来島構想の推進」の4つの柱で淡路地域の活性化と花と緑あふれる地域づくりを推進するとともに、淡路花博から25周年を記念し来年春期に開催する「花みどりフェア」の準備に万全を期して取り組む。

なお、令和6年度から事業費削減に取り組むなか、より効率的かつ効果的な事業の運営に努めることとする。

【事業の内容】 ()内は予算額

I 淡路を担う人づくり

1 淡路島くにうみ講座 (4,066千円)

淡路島の活性化と人づくりを目的として、島内外の多くの人々が淡路島のすばらしい自然、歴史、文化等への理解を深める講座を開催する。

《実施回数》 5回程度

2 永田青嵐顕彰全国俳句大会 (3,098千円)

淡路島出身の偉人 永田青嵐(本名:永田秀次郎)の功績を全国に発信し、俳句文化を通じたふるさと意識の高揚や、交流人口の増加による淡路島の活性化を図るため、第16回となる全国俳句大会を実施する。

《実施内容》

- ・投句募集 令和6年6月～9月
- ・俳句出前講座 3回程度
- ・俳句入門講座 3回連続講座
- ・淡路島吟行句会
- ・表彰式、講演会 令和7年3月頃

3 花づくり人材育成事業 (161千円)

(1) まちづくりガーデナー奨励事業

淡路島で花と緑のまちづくり活動に取り組むため、県立景観園芸学校で学び、「まちづくりガーデナー」として知事認定を受けた者に受講料の一部を助成する。

II 花と緑豊かな環境づくり

1 淡路花祭 (8,870千円)

花と緑あふれる公園島淡路の創造のため関係機関等と連携し、全島をあげて花と緑に関するイベントを開催する。

(1) 淡路花祭2024春

- ・期間 令和6年3月16日(土)～5月26日(日)

《主要事業》

- ・花と緑の講演会(令和5年度第6回淡路島くにうみ講座、花みどりフェア開幕1年前イベントと併催)

- ・家族で楽しむ寄せ植え体験（淡路島国営明石海峡公園）
 - ・淡路花祭 2024 春インスタグラムフォトコンテスト
 - ・第 12 回淡路花祭フォトコンテスト
 - ・淡路花祭 P R 展示（淡路サービスエリア(下り線)）
- (2) 淡路花祭 2024 秋
- ・期 間 令和 6 年 10 月上旬～11 月上旬
 - ・オープニングセレモニー（洲本市内）
- 《主要事業》
- ・第 13 回高校生花とみどりのガーデン（県立公園あわじ花さじき）
 - ・花と緑の講演会（淡路島くにうみ講座と併催）
 - ・淡路花祭 P R 展示（淡路サービスエリア(下り線)）
- (3) 2025 冬咲きチューリップショー
- 花の少ない冬季に、新たな花の名所づくりを目的として冬咲きチューリップショーを開催する。
- ・期 間 令和 7 年 1 月中旬～2 月中下旬
 - ・場 所 洲本市民広場ほか
- (4) 淡路花祭 2025 春 ※淡路花博 25 周年記念 花みどりフェアとして実施
- ・期 間 令和 7 年 3 月 20 日～4 月 27 日
 - ・家族で楽しむ寄せ植え体験（淡路島国営明石海峡公園）
- (5) 第 1 回花の島淡路インスタグラムフォトコンテスト【新規】
- 「花の札所」等淡路島内で撮影した写真をインスタグラムに投稿するフォトコンテストを実施する。
- ・対象写真 令和 6 年 6 月 1 日～令和 7 年 5 月 31 日の期間に島内で撮影された写真
 - ・投稿期間 令和 6 年 6 月 1 日～令和 7 年 6 月 10 日

2 花街道づくり事業（1,844 千円）

観光客等からよく見える国道・県道又は交通量が多い市道沿いの花壇等を利用して、住民の参画と協働による花による街道づくりを実施する個人・団体に対して上限 15 万円の助成を行う。

3 花の札所事業(あわじ花へんろ)（2,576 千円）

花の島・淡路島の魅力を広く発信するため、淡路島が誇る四季折々の花の景勝地・観光施設等 73 箇所を「花の札所」として指定し P R を促進する。

《事業内容》

(1) 花の札所拡充事業助成

「花の札所」としての魅力向上に取り組む札所を支援するため、整備費等について上限 15 万円の助成を行う。

(2) 「花の札所」開花状況等情報提供促進奨励金の交付

「花の札所」の開花状況や花の見頃を適時に情報発信するため、各札所における見頃の花の写真等を年 5 日以上インスタグラムに投稿した施設に対し 2 万円の奨励金を交付する。

(3) 広報 P R

① 花の札所 W E B スタンプラリー

ア W E B スタンプブックの運用及び情報発信

イ スタンプラリー参加者プレゼントの実施（5・10・20・35・73 スタンプの各コース）

ウ 花の札所ガイドブックの作成【新規】

- ② 「2025 花の札所カレンダー」の作成（令和6年12月）
四季折々の花の札所を特集したカレンダーを作成し、会員や関係機関に配布する。
- ③ あわじ花へんろホームページやフェイスブック、Instagramによる情報発信

4 環境美化事業（215 千円）

「環境立島淡路」島民会議に参画し、「環境美化月間」及び「淡路全島一斉清掃の日」活動に係る広報活動を実施する。

Ⅲ 活気あふれる地域づくり

1 淡路花博 25 周年記念 花みどりフェア（365,705 千円）【新規】

国際園芸・造園博ジャパンフローラ 2000（淡路花博）から 25 周年を記念する「淡路花博 25 周年記念 花みどりフェア」を令和7年春に開催するため、事業主体となる同実行委員会事務局を運営し、開催準備を進める。

開催テーマ	「自然と生きる、いのちをつなぐ淡路島」		
会期	令和7年3月20日（木・祝）～4月27日（日）39日間		
会場	メイン会場	淡路夢舞台及び淡路島国営明石海峡公園、 洲本市中心市街地、 淡路ファームパークイングランドの丘	
	サテライト会場	島内観光施設等	

2 地域活性化助成事業（2,705 千円）

淡路島の活性化を図ることを目的とした、まちおこし事業、地域交流事業、文化・芸術事業又は、国生み神話、御食国、日本遺産などの「国生みの島」に関連した事業を実施しようとする団体に対して経費の一部として上限 20 万円の助成を行う。

3 淡路島ブランド広域推進助成事業（803 千円）

淡路島内の地場産品を利用した商品を、魅力ある「淡路島ブランド」として、広域的にPRする団体に対して上限 20 万円の助成を行う。

4 淡路島総合観光戦略推進事業（4,640 千円）

令和5年3月に策定された「淡路島総合観光戦略」に基づく観光客の誘致等に向けた一般社団法人淡路島観光協会の取組を支援し、淡路地域の交流人口の増加や活性化を図る。

(1) 淡路島総合観光戦略の推進

専門人材の登用、淡路島観光戦略会議・淡路島観光会議の運営、淡路島観光客満足度調査の実施等

(2) 来島者受入環境整備事業

多言語対応等インバウンド推進体制の整備、観光人材育成セミナー・あわじ島創作料理コンテストの開催、情報発信等

(3) 大阪・関西万博等連携推進事業

大阪・関西万博事業との連携等

(4) 「やすらぎ」と「癒し」コンテンツ推進事業【新規】

「やすらぎ」と「癒し」のコンテンツの磨き上げと、ユニバーサルツーリズムの推進

- (5) サイクルツーリズム推進事業
サイクリスト誘引推進、他地域との広域的な連携等
- (6) 食の背景を語れる観光従事者育成事業
淡路島を代表する「食」や「食材」の背景を語れる観光従事者の育成等
- (7) 首都圏誘客戦略の展開
徳島空港の活用促進、徳島空港からレンタカー利用での来島促進等

5 AWA J I 島博の推進

大阪・関西万博に合わせ令和7年に開催を予定しているAWA J I 島博の実行委員会に引き続き参画し、一般社団法人淡路島観光協会、県、島内3市等とともに淡路島全体のプロモーションを実施する。

- (1) AWA J I 島博・デジタルスタンプラリー事業【新規】(予算は4 淡路島総合観光戦略推進事業の内)
島内の観光施設、宿泊施設等が参画するデジタルスタンプラリーを実施

6 活力創生プロジェクト支援事業

- (1) 淡路島ロングライド150 支援事業 (3,060 千円)

秋に開催を予定している「淡路島ロングライド150」の実行委員会に参画し、運営経費の一部を負担するとともに、県及び3市と協力して4箇所のエイドステーション(休憩所)で淡路島の食材を使ったふるまい等を行う。

- (2) 明石海峡大橋橋上イベント事業

本四道路活用イベント実行委員会に参画し、地域の魅力発信のためのイベントを実施する。

- ① 明石海峡大橋海上ウォーク
明石海峡大橋の管理用通路歩行
《実施時期 未定》
- ② 大鳴門橋うずしおウォーク
大鳴門橋の管理用通路歩行
《実施時期 未定》

- (3) 広域連携イベント等支援事業 (3,800 千円)

淡路全島の行政、各種団体等が参画して実施されるスポーツ等のイベント、島外での淡路島のPR、自然環境保全の取組などを支援する。

- (4) Awaji Art Circus 支援事業 (260 千円)

海外アーティストによる淡路島の地域資源も活用した国際アートフェスティバルの開催を支援する。

7 フィルムオフィス事業 (6,000 千円)

淡路島内での映画、テレビ、CMなどのロケ撮影に際し、ロケ場所の紹介、撮影コーディネーター、エキストラの手配、撮影スタッフの宿泊斡旋等の支援を行っている「淡路島フィルムオフィス」の運営経費を負担するとともに、その事務局を運営する。

また、第8回うみぞら映画祭2024(開催期間:令和6年4月27(土)~4月29日(月・祝))の開催を支援する。

8 淡路島日本遺産推進事業（1,210 千円）

平成 28 年 4 月に認定された淡路島日本遺産の認知度を高め、交流人口の増加による地域活性化に寄与するため 3 市、県民局等で組織する「淡路島日本遺産委員会」に参画し、事業を推進する。

IV あわじ環境未来島構想の推進

恵まれた特性を有しながらも、人口減少や経済規模の縮小といった課題に直面する淡路島において、地域資源を生かして「生命つながる持続する環境の島」を目指す「あわじ環境未来島構想」の実現に向けて、県・市・住民・地域団体・企業等と協働して取り組む。

1 あわじ環境未来島構想推進協議会の運営（945 千円）

住民、地域団体、NPO、企業、行政等が幅広く参画する協議会を設置・運営する。

2 あわじ環境未来島構想の情報発信（455 千円）

構想の意義や取組について、ホームページでの情報発信やノベルティグッズの活用等により広く周知啓発を行い、島民自らが持続可能な地域づくりへ取り組む機運を醸成する。

(1) あわじ環境未来島情報発信事業

「あわじ環境未来島構想」専用ホームページの維持管理を行う。

(2) ノベルティグッズ等の作成

SDGs に配慮したノベルティグッズ等を作成し、イベント等での構想の啓発を行う。

3 あわじ環境未来島体験ツーリズムの推進（550 千円）

あわじ環境未来島構想についての理解を深めるため、島内で構想の実現に資する取組を行う現場を巡り、体験や見学をしながら SDGs や淡路島の未来を考えるきっかけとなるツアーを開催するとともに、研修・視察の受入を実施する。

(1) あわじ環境未来島体験ツアーの開催

あわじ環境未来島構想に基づき、島内で展開されているプロジェクト現場等を体験・見学するツアーを開催する。

(2) あわじ環境未来島構想に関する研修・視察の受け入れ

あわじ環境未来島構想に関心のある団体からの研修・視察に関する問い合わせに対して、資料提供やレクチャーの実施、研修・視察先との調整等を行う。

4 「EVアイランドあわじ」の推進（1,800 千円）

構想の柱の一つである「エネルギーの持続」の推進のため、島内の事業者を対象に、エネルギー効率が良く、CO₂削減効果の高い電気自動車（EV）の導入補助を行う。

5 エネルギーの地産地消の促進（家庭用蓄電池の導入支援）（7,200 千円）

家庭部門におけるエネルギーの地産地消を促進するため、太陽光発電の自家消費対策として家庭用蓄電池を導入する島民に対して設備費の一部を支援する。

6 住民参加型太陽光発電事業（住民参加型くふうみ太陽光発電所）（42,415 千円）

県立淡路島公園隣接用地に建設したメガワット級（約 1 MW）の太陽光発電施設を運用し、売電事業を行う。

V 普及啓発 (9,744 千円)

「人と自然の豊かな関係をきずく“公園島”」にふさわしい淡路島のイメージを様々な媒体と機会を活用して島内外に広く発信する。

1 ホームページ、SNS サイトの運営

当協会のホームページ、フェイスブック、インスタグラムを用い、幅広い世代に向けて情報発信する。

2 協会広報紙の発行

当協会の概要や事業を紹介する広報紙を作成し、配布する。

3 各種媒体を使った広報

ノベルティグッズ（花の種等）を配布するとともに、地元情報誌など各種媒体を通じて協会事業を紹介し広報を行う。